

# 令和2年度指定管理業務に関する事業報告書（デイ）

施設名 京都市久世西老人デイサービスセンター

## 1 施設の管理運営

- ・介護保険法に基づく通所介護事業及び介護予防型通所介護事業の実施
- ・京都市総合事業（介護予防・日常生活支援事業・短時間型デイサービス）の実施

（参考）今後実施予定の指定管理者提案内容

## 2 事業実施内容

- ・通所介護、介護予防通所介護事業実施とこれに伴うサービスの提供（送迎・入浴・食事・機能訓練・レクリエーション・相談援助業務等の提供）
- ・日曜日と年末年始（12/31～1/3）を除き毎日開所
- ・通所介護計画に基づき個々のご利用者に応じた日常生活自立支援を目指したサービス提供、個別機能訓練計画書に基づいた個別機能訓練の実施
- ・レクリエーションは「選べるデイサービス」（音楽・健康・制作・書道、外出のサークルから利用者が選んで参加）。コロナウィルスの影響から実施を控える形をとったが、外出レクの代案とし当センター向かい側にある公園へ機能訓練や地域社会への参加を目的に実施。また心身機能の向上、日常生活の充実を図るとともに家族に対する相談援助や関係機関との連携に努める
- ・サービスの質を維持、向上する事を目的とした向上検討会議の開催、ユーザーアンケートによる意向調査、内外研修受講の継続的な取り組み
- ・コロナウィルスの影響から自粛、開催頻度は減ったが、久世学区社協の役員会や総会、敬老会や研修会への参加
- ・久世学区社協の障害者部会（わ）の会への協力。事務局として、役員会等への参加
- ・南区社協や久世地域包括支援センターとの連携
- ・地域住民との連携、活動の幅がもてるようボランティアの積極的な受け入れ
- ・南区認知症サポートネットワークや南区オレンジサロンへの職員派遣
- ・併設の児童館や老人福祉センターとの共同事業の企画、参加
- ・労務においては、職員が働きやすい環境づくりに繋げる為の会議、検討機会の場をもうけ、同時に年次有給休暇が取得しやすいような環境づくりに努める
- ・長年、継続的に開催している「介護相談」の場を月に1回、当センター2階にある老人福祉センターにてケアマネジャーが継続的に開催

（参考）今後実施予定の指定管理者提案内容

（参考）自主事業内容

## 3 サービス提供状況

管理者：1名 生活相談員：2名 看護師：3名 介護職員：11名 機能訓練指導員：4名  
調理員：3名 運転手：3名 介護支援専門員：4名

（参考）今後実施予定の指定管理者提案内容

## 4 市内中小企業への発注に対する考え方

本会においては、本会経理規定により100万円以上に関しては、一般競争入札に付することとし、100万円未満の委託業務に関しては、随意契約としています。一般競争入札の場合は、市内中小企業も含めて広く公募し、随意契約では、市内中小企業へも配慮し、見積もり合わせを行っております。

## 5 施設の利用状況(施設の稼働率, 利用者数, 事業参加者数など)

### (1) 延べ利用人数(実績値)

6804 人

### (2) 実利用者数(実績値)

733 件

### (3) 収支実績

ア 令和2年度収入状況(単位:円)

介護保険収入	63,181,566
利用料収入	4,378,193
委託料収入	
補助金収入	
寄付金収入	
雑収入	
その他	52,428,253
収入計	119,988,012

イ 令和2年度支出状況(単位:円)

人件費	77,095,116
事業費	14,507,300
委託費	
小額修繕費	
その他	28,374,174
支出計	119,976,590

## 6 施設の利用者満足度の把握

### (1) 利用者満足度の把握状況

・ユーザーアンケートの実施  
令和3年1月より配布し翌月2月に回収。アンケート周囲系結果を利用者及び介護者に配布する

### (2) 利用者満足度把握の結果

<主な項目>

利用時間・・・満足74% やや満足18% やや不満足3% 不満0% 無記入5%  
送迎・・・満足74% やや満足18% 足 やや不満0% 不満0% 無記入8%  
入浴・・・満足66% やや満足24% やや不満0% 不満0% 無記入10%  
食事・・・満足68% やや満足26% やや不満3% 不満0% 無記入3%  
機能訓練・・・満足53% やや満足24% やや不満5% 不満0% 無記入18%  
レク・・・満足47% やや満足32% やや不満3% 不満0% 無記入18%  
サービス全体・・・満足63% やや満足21% やや不満0% 不満0% 無記入18%

### (3) 意見等への主な対応状況

・ユーザーアンケートに基づく集計結果を職員会議で共有し、ユーザーアンケートの集計結果と改善方法についての検討を重ね「要望に関する回答」といった形式にてご利用者、ご家族へ配布する。

## 7 その他特記事項

(1)

・法人内施設にてブロック体制を組み①相談員②ケアワーカー③看護師④ケアマネジャー等、各部門に分かれ情報の共有、質の向上に繋がるよう機会をもうける。例年であれば研修も開催してきたが、今年度はコロナウィルスの影響から開催は控え事業所内での研修開催としている。  
・チャレンジ就労の受け入れも柔軟に行っており現在は1名を受け入れ実施。  
・柔道整復師とミーティングを実施し、機能訓練の充実化を図っている。

(2)

--

## 8 評価（指定管理者自己評価）

・利用受入に関し利用者の個別性に重視しニーズに合わせて短時間での利用など、柔軟に行っている。またサービス向上検討会議、職員会議等を通じてケース検討の場をもうけ、サービスの質の維持、向上に繋がるよう努めている。  
また柔道整復師とも連携を図る事で機能訓練の充実化を図り当センター向かい側にある公園等を活用した屋外歩行訓練を継続的に行う等、利用者のニーズや思いに沿った支援に繋がるよう解放感も保てる事業運営に努めている。  
・月に1回、併設の老人福祉センターの一室を借り、ケアマネジャーによる相談会を継続的にもうけ、地域への居宅の相談機能の発揮にも努めてきた。  
・コロナウィルスの影響により研修の開催等は控えざる負えない状況ではあったが、ズームを活用した情報交換等を通じて質の向上を図ってきた。